

## I 第4週の発生動向 (2016/1/25~2016/1/31)

1. インフルエンザについては、八戸保健所管内で**警報**が、上十三保健所、むつ保健所管内で**注意報**が発令されました。また、東地方+青森市保健所、弘前保健所、五所川原保健所管内で第3週から**注意報**が続いています。
2. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が発令されました。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で第1週から**警報**が続いています。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、患者報告数が前週の52人から82人に増加しました。

## II 第4週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	335	25.77	195	13.00	490	32.67	84	12.00	178	19.78	86	14.33	1,368	21.05	299
RSウイルス感染症	3	0.38	4	0.44	1	0.10	2	0.40			2	0.50	12	0.29	3
咽頭結膜熱					7	0.70	1	0.20	1	0.17			9	0.21	-11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.25	23	2.56	44	4.40	2	0.40	3	0.50			82	1.95	30
感染性胃腸炎	33	4.13	19	2.11	27	2.70	11	2.20	25	4.17	25	6.25	140	3.33	2
水痘	5	0.63	1	0.11	1	0.10	1	0.20					8	0.19	-8
手足口病			2	0.22	1	0.10	1	0.20					4	0.10	4
伝染性紅斑	2	0.25			1	0.10			2	0.33	17	4.25	22	0.52	-3
突発性発しん	4	0.50	1	0.11	7	0.70			1	0.17			13	0.31	-8
百日咳															0
ヘルパンギーナ	1	0.13											1	0.02	0
流行性耳下腺炎	26	3.25	1	0.11			1	0.20	3	0.50	1	0.25	32	0.76	11
眼科															0
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	2	1.00			3	1.50							5	0.45	-1
基幹															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											4	4.00	4	0.67	-1
無菌性髄膜炎	2	2.00											2	0.33	2
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.00			1	0.17	0

## III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 弘前1人 (2016年計:21人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2016年計:1人)

## IV 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、1/11)・・・ヒトメタニューモウイルス: 八戸1人
- ・下気道炎患者(咽頭ぬぐい液、1/13)・・・ヒトライノウイルスC及びRSウイルスA: 八戸1人

# 感染症の窓

## 麻しん (五類全数把握疾患)

予防接種が有効です!

麻しんは麻しんウイルスによる急性熱性発疹性疾患です。年齢別患者報告数では1歳にピークがあり、約半数が2歳以下です。毎年春から初夏にかけて流行が見られます。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強いと言われています。感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすいと言われています。

近年はワクチンの2回接種が行われ、麻しんの患者数は減少しています。2010年~2015年の報告数の推移を見ると、全国では2014年まで200人台~400人台で推移していましたが、2015年は35人と大きく減少しました。また、本県でも2010年は7人でしたが、2011年以降は麻しんの発生はありません(表)。

麻しんは手洗い、マスクのみで予防はできません。有効な予防法は麻しんワクチンです。ワクチンを接種することによって、95%以上の人々が麻しんウイルスに対する免疫を獲得することができるとされています。また、2回の接種を受けることで1回の接種では免疫が付かなかった5%未満の人に免疫を付けることができます。

定期予防接種は、生後12ヶ月~24ヶ月に1回及び小学校就学前の1年間に1回の計2回です。定期接種については、お住まいの市町村予防接種担当課にお問い合わせください。また、最近では成人の麻しん患者の割合が増加しています。定期接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴や接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP

表: 報告数の推移 (2010年~2015年)

	全国(人)	青森県(人)
2010年	447	7
2011年	439	0
2012年	283	0
2013年	229	0
2014年	462	0
2015年	35	0

## V 県内インフルエンザ情報

第4週の患者報告数は1368人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1339人【A型：1275人、B型：63人、A型及びB型陽性：1人（八戸保健所管内）】でした。

**警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点**  
 （※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。）

### 保健所管内別届出人数（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4
保健所名												
東地方					2					4	2	7
弘前			1			1	8	9	32	62	194	195
八戸							2	3	37	217	396	490
五所川原								6	14	38	84	84
上十三		1			1			1	16	35	89	178
むつ						2	11	2	6	24	40	86
青森市					1	5	23	14	37	83	264	328
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368

### A型（迅速診断キットによる型別です）（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4
保健所名												
東地方					1					4	2	7
弘前			1			1	8	9	32	61	193	194
八戸							2	3	34	215	377	467
五所川原								6	14	37	84	82
上十三		1			1			1	14	34	80	159
むつ						2	11	2	6	22	36	60
青森市					1	5	23	12	37	82	252	307
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276

### B型（迅速診断キットによる型別です）（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4
保健所名												
東地方					1							
弘前										1	1	1
八戸									3		6	10
五所川原												2
上十三									2	1	8	16
むつ										2	4	26
青森市								2		1	6	9
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64

### 年齢区分別（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4
～5ヶ月											3	3
～11ヶ月									4	7	13	12
1歳							1	2	5	23	47	77
2歳							1	4	3	16	47	65
3歳							1	1	1	17	50	73
4歳								1	8	25	63	116
5歳							1	2	5	23	76	122
6歳							1	1	3	29	70	96
7歳					1	2	6	1		13	72	72
8歳							4	1	3	14	66	55
9歳						1	3		2	7	58	64
10～14歳					2		4	1	4	29	99	145
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42	51
20～29歳							1	2	10	35	39	48
30～39歳		1					3	6	20	47	68	95
40～49歳						1	4	3	18	60	92	103
50～59歳							2	2	22	45	65	71
60～69歳							1	3	18	32	58	61
70～79歳			1					1	5	14	27	26
80歳以上								1	2	9	14	13

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第47週～2016年第4週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人					
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			播種性クリプトコックス症1人			
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全症候群1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人					
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人					

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第47週～2016年第4週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	2	2	1			
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	1
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1	1	1	1	1	
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1	1	1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31		1				

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第2週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)			
累積報告数	627	7	26	3	2	16	6	19	17	1	40	31	4	46	14	5	17	48	2	15	3	139	13			

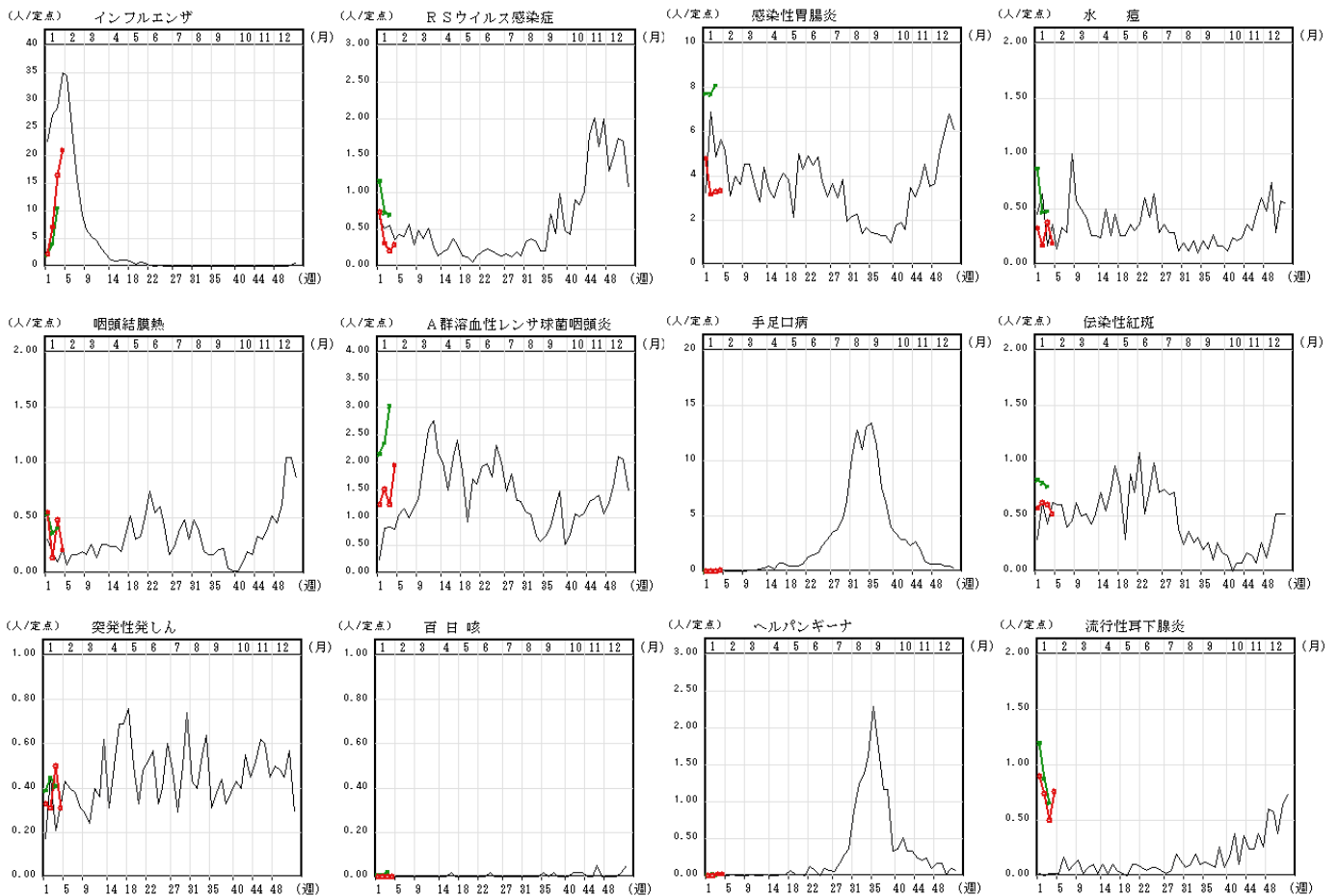
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
累積報告数	108	4	3	2	2	1

青森県 (2016年第1週～第4週累計)

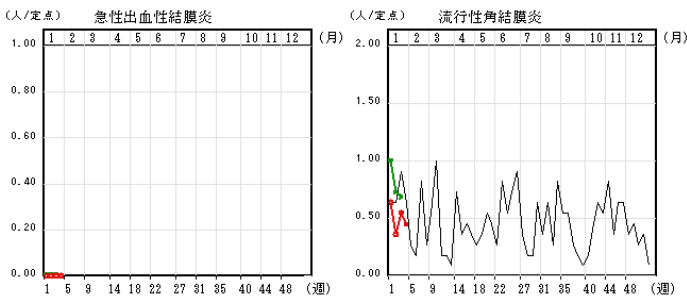
分類	二類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	水痘(入院例)
累積報告数	21	2	1	1	3	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第4週、但し全国は前週)

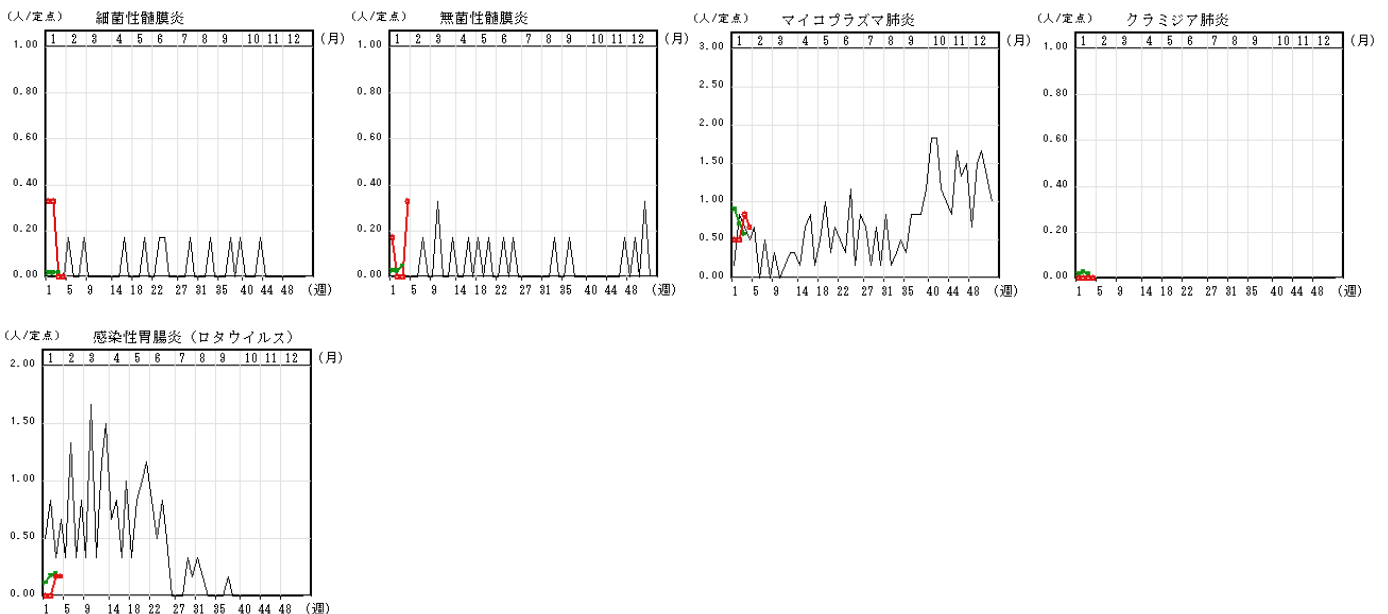
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第4週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第4週、但し全国は前週)



## XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第4週は報告がありませんでした。

### 平成28年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)		1月				計 (施設別)
		1週	2週	3週	4週			
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	